



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和6年度

全体実施設計

駅館川地区幹線用水路基本設計業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

業務別業務名:設計業務

九州農政局

業務別業務名:設計業務

九州農政局

[illegible]

[illegible]

事業名	全体実施設計
業務名	駅館川地区幹線用水路基本設計業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単ー 1号 ***					
S02115	主任技師					
	主任技師		人	64,800		歩A・単A
	*** S単ー 2号 ***					
S02115	技師 (A)					
	技師 (A)		人	57,000		歩A・単A
	*** S単ー 3号 ***					
S02115	技師 (B)					
	技師 (B)		人	47,200		歩A・単A
	*** S単ー 4号 ***					
S63003	資料の検討					
	設計労務(直接人件費内業)		式	51,300		歩A・単A
	*** S単ー 5号 ***					
S63003	基本条件の検討					
	設計労務(直接人件費内業)		式	162,000		歩A・単A
	*** S単ー 6号 ***					
S63003	管種、管径の検討					
	設計労務(直接人件費内業)		式	813,900		歩A・単A
	*** S単ー 7号 ***					
S63003	定常水理解析					
	設計労務(直接人件費内業)		式	620,120		歩A・単A
	*** S単ー 8号 ***					
S63003	非定常水理解析					
	設計労務(直接人件費内業)		式	288,100		歩A・単A
	*** S単ー 9号 ***					
S63003	構造計算					
	設計労務(直接人件費内業)		式	477,220		歩A・単A
	*** S単ー 10号 ***					
S63003	構造図作成					
	設計労務(直接人件費内業)		式	188,980		歩A・単A
	*** S単ー 11号 ***					
S63003	附帯構造物の検討					
	設計労務(直接人件費内業)		式	562,680		歩A・単A
	*** S単ー 12号 ***					
S63003	附帯施設構造図作成					
	設計労務(直接人件費内業)		式	1,290,240		歩A・単A
	*** S単ー 13号 ***					
S63003	平面縦断図作成					
	設計労務(直接人件費内業)		式	1,902,140		歩A・単A
	*** S単ー 14号 ***					
S63003	数量計算					
	設計労務(直接人件費内業)		式	1,256,280		歩A・単A
	*** S単ー 15号 ***					
S63003	施工計画					
	設計労務(直接人件費内業)		式	244,560		歩A・単A
	*** S単ー 16号 ***					
S63003	概算工事費					
	設計労務(直接人件費内業)		式	170,580		歩A・単A
	*** S単ー 17号 ***					
S63003	総合検討					
	設計労務(直接人件費内業)		式	142,560		歩A・単A
	*** S単ー 18号 ***					
S63003	業務照査					
	設計労務(直接人件費内業)		式	123,120		歩A・単A
	*** S単ー 19号 ***					
S63003	点検取りまとめ					
	設計労務(直接人件費内業)		式	379,480		歩A・単A
	*** S単ー 20号 ***					
S63007	現地調査					
	設計労務(直接人件費外業)		式	338,000		歩A・単A
	*** S単ー 21号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)					
	打合せ (設計業務基準日額)					
	一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.5日		回	121,800		歩A・単A
	*** S単ー 22号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)					

[illegible]

事業名	全体実施設計
業務名	駅館川地区幹線用水路基本設計業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S02115	主任技師		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04003 基(C)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
	合 計				64,800	算出数量 1.000 人
	単 価				64,800	
	*** S単- 2号 ***					
S02115	技師 (A)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基(C)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
	合 計				57,000	算出数量 1.000 人
	単 価				57,000	
	*** S単- 3号 ***					
S02115	技師 (B)		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	技師 (B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005 基(C)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B)	1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				47,200	算出数量 1.000 人
	単 価				47,200	
	*** S単- 4号 ***					
S63003	資料の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 主任技術者の人数 2) 技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3) 主任技師の人数 4) 技師Aの人数	0.00人 0.90人		深夜時間:0.0		
	5) 技師Bの人数 6) 技師Cの人数	0.00人 0.00人				
	7) 技術員の数	0.00人				
R04004	技師 (A)	0.900	人	57,000	51,300	
	合 計				51,300	算出数量 1.000 式
	単 価		式		51,300	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	基本条件の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 主任技術者の人数 2) 技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3) 主任技師の人数 4) 技師Aの人数	2.50人 0.00人		深夜時間:0.0		

事業名	全体実施設計
業務名	駅館川地区幹線水路基本設計業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5) 技師 B の人数	0.00 人				
	6) 技師 C の人数	0.00 人				
	7) 技術員 の人数	0.00 人				
R04003	主任技師	2.500	人	64,800	162,000	
	合 計				162,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		162,000	
	*** S 単 - 6号 ***					
S63003	管種、管径の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.50 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	7.50 人				
	5) 技師 B の人数	7.50 人				
	6) 技師 C の人数	0.00 人				
	7) 技術員 の人数	0.00 人				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A)	7.500	人	57,000	427,500	
R04005	技師 (B)	7.500	人	47,200	354,000	
	合 計				813,900	算出数量 1.000 式
	単 価		式		813,900	
	*** S 単 - 7号 ***					
S63003	定常水理解析		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	0.00 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	5.00 人				
	5) 技師 B の人数	7.10 人				
	6) 技師 C の人数	0.00 人				
	7) 技術員 の人数	0.00 人				
R04004	技師 (A)	5.000	人	57,000	285,000	
R04005	技師 (B)	7.100	人	47,200	335,120	
	合 計				620,120	算出数量 1.000 式
	単 価		式		620,120	
	*** S 単 - 8号 ***					
S63003	非定常水理解析		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約: なし 夜間制約作業時間: 0.0	制約作業時間: 0.0 冬期補正: なし	
	1) 主任技術者の人数	0.00 人		豪雪補正: なし	亜熱帯補正: なし	
	2) 技師長の人数	0.00 人		基本給時間: 8.0	超勤時間: 0.0	
	3) 主任技師の人数	1.30 人		深夜時間: 0.0		
	4) 技師 A の人数	2.50 人				
	5) 技師 B の人数	1.30 人				
	6) 技師 C の人数	0.00 人				
	7) 技術員 の人数	0.00 人				
R04003	主任技師	1.300	人	64,800	84,240	
R04004	技師 (A)	2.500	人	57,000	142,500	
R04005	技師 (B)	1.300	人	47,200	61,360	
	合 計				288,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		288,100	

事業名	全体実施設計
業務名	駅館川地区幹線用水路基本設計業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 9号 ***					
S63003	構造計算		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師的人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師A的人数	2.50人				
	5)技師B的人数	3.40人				
	6)技師C的人数	3.40人				
	7)技術員的人数	1.30人				
R04004	技師 (A)	2.500	人	57,000	142,500	
R04005	技師 (B)	3.400	人	47,200	160,480	
R04006	技師 (C)	3.400	人	38,400	130,560	
R04007	技術員	1.300	人	33,600	43,680	
	合 計				477,220	算出数量 1.000 式
	単 価		式		477,220	
	*** S単一 10号 ***					
S63003	構造図作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師的人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師A的人数	0.50人				
	5)技師B的人数	1.30人				
	6)技師C的人数	1.30人				
	7)技術員的人数	0.50人				
R04003	主任技師	0.500	人	64,800	32,400	
R04004	技師 (A)	0.500	人	57,000	28,500	
R04005	技師 (B)	1.300	人	47,200	61,360	
R04006	技師 (C)	1.300	人	38,400	49,920	
R04007	技術員	0.500	人	33,600	16,800	
	合 計				188,980	算出数量 1.000 式
	単 価		式		188,980	
	*** S単一 11号 ***					
S63003	附帯構造物の検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師的人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師A的人数	5.40人				
	5)技師B的人数	5.40人				
	6)技師C的人数	0.00人				
	7)技術員的人数	0.00人				
R04004	技師 (A)	5.400	人	57,000	307,800	
R04005	技師 (B)	5.400	人	47,200	254,880	
	合 計				562,680	算出数量 1.000 式
	単 価		式		562,680	
	*** S単一 12号 ***					

事業名	全体実施設計
業務名	駅館川地区幹線用水路基本設計業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63003	附帯施設構造図作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.90人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.60人				
	5)技師Bの人数	3.60人				
	6)技師Cの人数	9.80人				
	7)技術員の人数	14.30人				
R04003	主任技師					
		0.900	人	64,800	58,320	
R04004	技師 (A)					
		3.600	人	57,000	205,200	
R04005	技師 (B)					
		3.600	人	47,200	169,920	
R04006	技師 (C)					
		9.800	人	38,400	376,320	
R04007	技術員					
		14.300	人	33,600	480,480	
	合 計				1,290,240	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,290,240	
	*** S単ー 13号 ***					
S63003	平面縦断面図作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	6.30人				
	5)技師Bの人数	15.20人				
	6)技師Cの人数	15.20人				
	7)技術員の人数	7.20人				
R04004	技師 (A)					
		6.300	人	57,000	359,100	
R04005	技師 (B)					
		15.200	人	47,200	717,440	
R04006	技師 (C)					
		15.200	人	38,400	583,680	
R04007	技術員					
		7.200	人	33,600	241,920	
	合 計				1,902,140	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,902,140	
	*** S単ー 14号 ***					
S63003	数量計算		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	8.40人				
	6)技師Cの人数	8.40人				
	7)技術員の人数	10.90人				
R04004	技師 (A)					
		3.000	人	57,000	171,000	
R04005	技師 (B)					
		8.400	人	47,200	396,480	
R04006	技師 (C)					
		8.400	人	38,400	322,560	
R04007	技術員					
		10.900	人	33,600	366,240	
	合 計				1,256,280	算出数量 1.000 式
	単 価		式		1,256,280	
	*** S単ー 15号 ***					

事業名	全体実施設計
業務名	駅館川地区幹線水路基本設計業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63003	施工計画		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.30人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.40人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.70人				
R04003	主任技師					
		1.300	人	64,800	84,240	
R04004	技師 (A)					
		2.400	人	57,000	136,800	
R04007	技術員					
		0.700	人	33,600	23,520	
	合 計				244,560	算出数量 1.000 式
	単 価		式		244,560	
	*** S単ー 16号 ***					
S63003	概算工事費		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.90人				
	5)技師Bの人数	0.90人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04004	技師 (A)					
		0.900	人	57,000	51,300	
R04005	技師 (B)					
		0.900	人	47,200	42,480	
R04006	技師 (C)					
		2.000	人	38,400	76,800	
	合 計				170,580	算出数量 1.000 式
	単 価		式		170,580	
	*** S単ー 17号 ***					
S63003	総合検討		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.20人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師					
		2.200	人	64,800	142,560	
	合 計				142,560	算出数量 1.000 式
	単 価		式		142,560	
	*** S単ー 18号 ***					
S63003	業務照査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.90人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				

事業名	全体実施設計					
業務名	駅館川地区幹線用水路基本設計業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04003	主任技師	1.900	人	64,800	123,120	
	合 計				123,120	算出数量 1.000 式
	単 価		式		123,120	
	*** S単－ 19号 ***					
S63003	点検取りまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.20人				
	5)技師Bの人数	3.40人				
	6)技師Cの人数	1.30人				
	7)技術員の人数	1.30人				
R04004	技師 (A)	2.200	人	57,000	125,400	
R04005	技師 (B)	3.400	人	47,200	160,480	
R04006	技師 (C)	1.300	人	38,400	49,920	
R04007	技術員	1.300	人	33,600	43,680	
	合 計				379,480	算出数量 1.000 式
	単 価		式		379,480	
	*** S単－ 20号 ***					
S63007	現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長的人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	2.000	人	64,800	129,600	
R04004	技師 (A) 外業	2.000	人	57,000	114,000	
R04005	技師 (B) 外業	2.000	人	47,200	94,400	
	合 計				338,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		338,000	
	*** S単－ 21号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 着手前・最終, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.00人, 0.5日, 0.5日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.500日				
R04003	主任技師	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A)	1.000	人	57,000	57,000	
	合 計				121,800	算出数量 1.000 回
	単 価		回		121,800	

事業名	全体実施設計
業務名	駅館川地区幹線水路基本設計業務

業務別業務名:設計業務

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 22号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種, 中間, 0.00人, 1.00人, 1.00人, 0.00人, 0.5日, 0.5日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.500日				
R04004	技師 (A)					
		1,000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B)					
		1,000	人	47,200	47,200	
	合 計				104,200	算出数量 1,000 回
	単 価		回		104,200	
	*** S単一 23号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 着手前・最終, 通勤により打合せ,,, 一般交通機関, 0日,, 100km≤L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	着手前・最終				
	3)主任技師配置人員	1人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金 (税別)	6,780円				
	15)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	100km≤L (100km以上)				
P54306	鉄道料金 消費税抜き					
		2,000	人	6,780	13,560	
	合 計				13,560	算出数量 1,000 回
	単 価		回		13,560	
	*** S単一 24号 ***					
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		1,000 回	歩A 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 中間, 通勤により打合せ,,, 一般交通機関, 0日,, 100km≤L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ内容	中間				
	3)主任技師配置人員	0人				
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.50日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	12)交通機関区分	一般交通機関				
	13)高速道路往復料金 (税別)	0円				
	14)鉄道往復1人当料金 (税別)	6,780円				
	15)バス往復1人当料金 (税別)	0円				
	16)船舶往復1人当料金 (税別)	0円				
	17)航空往復1人当料金 (税別)	0円				
	18)ライトバン使用日数	0日				
	20)往復移動距離区分	100km≤L (100km以上)				

事業名	全体実施設計					
業務名	駅館川地区幹線用水路基本設計業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
P54306	鉄道料金					
	消費税抜き	2.000	人	6,780	13,560	
	合 計				13,560	算出数量 1.000 回
	単 価		回		13,560	
	*** S単ー 25号 ***					
S63017	旅費交通費 (設計外業宿泊用)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	旅費交通費 (設計外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 0.50日, 2日, 2時間, なし, 100km≦ L (100km以上)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 宿泊地	乙地		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2) 交通機関区分	ライトバン		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3) 高速道路往復料金 (税別)	7,290円		深夜時間:0.0		
	4) 鉄道往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	5) バス往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	6) 船舶往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	7) 航空往復料金[全員分合算] (税別)	0円				
	8) 往復移動日数	0.50日				
	9) ライトバン使用日数	2日				
	10) 時間区分	2時間				
	11) 補正区分	なし				
	12) 技師長外業日数	0.000日				
	13) 主任技師外業日数	2.000日				
	14) 技師A外業日数	2.000日				
	15) 技師B外業日数	2.000日				
	16) 技師C外業日数	0.000日				
	17) 技術員外業日数	0.000日				
	18) 往復移動距離区分	100km≦ L (100km以上)				
P54202	設計用主任技師日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,182	2,364	
P54203	設計用技師 (A) 日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54204	設計用技師 (B) 日当					
	消費税抜き	2.000	人	1,000	2,000	
P54002	設計用主任技師宿泊費 (乙地) 消費税抜き (7 級相当)	1.000	人	10,727	10,727	
P54003	設計用技師 (A) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (6 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54004	設計用技師 (B) 宿泊費 (乙地) 消費税抜き (4 級相当)	1.000	人	8,909	8,909	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54113	外業の滞在日額旅費 3 級相当以上 宿泊現地到着の翌日より29日目まで	1.000	人	8,354	8,354	
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	7,290	7,290	
M28121	ライトバン[カブソリエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	2.000	日	1,650	3,300	
P34001	ガソリン					
	J I S 2 号 レギュラースタンド	10.800	L	163	1,760	
	合 計				72,321	算出数量 1.000 式
	単 価		式		72,321	
	*** S単ー 26号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, Aー4, 500, 10cm, 0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2) 規格区分	Aー4		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3) 枚数区分(枚)	500		深夜時間:0.0		
	4) 厚さ区分	10cm				
	5) CD-R枚数(枚)	0.000				
P43422	報告書焼付代 (コピー) Aー4 以下 500 枚	1.000	部	6,750	6,750	
P43544	簡易加除式ファイル A 4 縦型幅10cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	789	789	
P43602	CDーR CDーR (記録面色素フタロシアニン) 700MB	0.000	枚	47	0	
	合 計				7,539	算出数量 1.000 式
	単 価		式		7,539	

令和 6 年度 全体実施設計

駅館川地区幹線用水路基本設計業務

特 別 仕 様 書

九州農政局

北部九州土地改良調査管理事務所

第 1 章 総 則

(適用範囲)

第 1－1 条

令和 6 年度全体実施設計 駅館川地区幹線用水路基本設計業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第 1－2 条

本業務は、国営土地改良事業全体実施設計「駅館川地区」の一環として整備計画を策定するため、平田幹線用水路、辛江幹線用水路、広瀬幹線用水路、桂掛幹線用水路のパイプライン化区間について基本設計を行うものである。

(場 所)

第 1－3 条

本業務において対象とする施設の場所は、大分県宇佐市地内で別添位置図に示すとおりである。

(土地の立入り等)

第 1－4 条

作業実施のための土地の立入り等は、共通仕様書第 1-16 条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等を行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(低入札価格契約における第三者照査)

第 1－5 条

- (1) 予算決算及び会計令（以下、「予決令」という。）第 85 条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第 11 条照査技術者」及び「共通仕様書第 1-7 条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査（以下、「第三者照査」という。）を実施しなければならない。
- (2) 第三者照査の企業に要求される資格
 - 1) 予決令第 98 条において準用する予決令第 70 条及び第 71 条の規定に該当していないこと。
 - 2) 九州農政局において、令和 6 年度（当該業種区分）の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること。
 - 3) 九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
 - 4) 共通仕様書第 1-30 条守秘義務を遵守できるものであること。
 - 5) 中立的、公平な立場で照査が可能な者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。
 - ①資本関係
 - ア．親会社と子会社の関係にある
 - イ．親会社を同じくする子会社同士の関係にある
 - ②人的関係
 - 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている
- (3) 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格
第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。
 - 1) 照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
 - 2) 照査技術者と同等の技術者資格を有する者
- (4) 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

(5) 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

(6) 報告書原稿作成段階時打合せへの立会い

特別仕様書第 4-1 条業務打合せに示す打合せのうち、報告書原稿作成段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

(7) 第三者照査の照査技術者の AGRIS 登録

共通仕様書第 1-12 条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス (AGRIS) の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

(8) 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないものであるときは、業務請負契約書第 41 条のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第 1-6 条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。なお、業務完了検査時までに提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

(1) 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合

(2) 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合

(3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合

(4) 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

第 1-7 条

業務請負契約書及び共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

(1) 受注者は、作業実施順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。

(2) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めた時は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第 1-8 条

(1) 管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条 第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木、農業農村工学

資 格	技術部門	選択科目
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(照査技術者)

第 1－9 条

- (1) 照査技術者は、共通仕様書第 1-7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木、農業農村工学
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

- (2) 共通仕様書第 1-7 条第 4 項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- 1) 基本条件の設定時
- 2) 細部条件の決定時
- 3) 成果品のとりまとめ時

- (3) 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(配置技術者の確認)

第 1－10 条

共通仕様書第 1-11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1－12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第 1－11 条

受注者は、共通仕様書第 1-37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第 2 章 作業条件

(適用する図書)

第 2－1 条

設計の基本的事項に関しては、「土地改良事業計画設計基準・設計 パイプライン（令和 3 年 6 月）」を優先して適用する。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

(設計条件)

第2-2条

設計作業における設計条件は、別紙1のとおりである。

(参考図書)

第2-3条

番号	名称	発行所	制定(改訂)年月
1	農業農村整備事業計画作成便覧	農業農村整備事業計画研究会	平成15年8月
2	国営土地改良事業調査計画マニュアル	(社)農業土木事業協会	平成5年3月

(貸与資料)

第2-4条

貸与資料は、次のとおりである。

番号	資料名	数量
1	令和4年度地区調査 駅館川地区施設計画補足検討その他業務 報告書	一式
2	令和4年度地区調査 駅館川地区用水計画補足検討その他業務 報告書	一式
3	令和5年度地区調査 駅館川地区事業計画書(案)とりまとめ業務 報告書	一式
4	国営駅館川土地改良事業 施設管理図	一式

(参考図書及び貸与資料の取扱い)

第2-5条

第2-3条、第2-4条に示す参考図書及び貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 参考図書及び貸与資料の記載事項で相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 参考図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員から請求があった場合のほか、完了検査までに一括返納しなければならない。

(関連業務)

第2-6条

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた設計としなければならない。

業務名	業務実施期間
令和6年度全体実施設計 駅館川地区施設計画等検討業務	令和6年4月19日 ～令和7年2月27日
令和6年度全体実施設計 駅館川地区用水計画策定等検討業務	令和6年4月19日 ～令和7年2月27日

第 3 章 作業内容

(作業項目及び数量)

第 3－1 条

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は【別紙 2】「設計作業項目内訳表」のとおりである。

【作業項目表】

作業項目	数量	備考
1 現地調査	L=8.9km	桂掛幹線用水路 L=1.0km 広瀬幹線用水路 L=1.7km 平田幹線用水路 L=5.7km 辛江幹線用水路 L=0.5km
2 資料の検討		
3 設計計画		
4 水理検討		
5 構造計算		
6 構造図作成		
7 附帯構造物の検討		
8 附帯施設構造図作成		
9 平面縦断面図作成		
10 数量計算		
11 施工計画		
12 概算工事費		
13 総合検討		
14 業務照査		
15 点検取りまとめ		

(設計作業の留意点)

第 3－2 条

設計作業の実施にあたって、特に留意する点は次のとおりとする。

- (1) 設計に当たっては、造成される施設が必要な機能及び安全で所要の耐久性を有するとともに維持管理、施工性及び経済性について考慮しなければならない。
- (2) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (3) 第 2-3 条、第 2-4 条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合、その出典を明示するものとする。
- (4) 施工上特に注意する点を特記する必要がある場合には、設計図面に記入するものとする。
- (5) 当該業務で実施するコスト縮減対策の検討作業に関し、検討の視点、施策の提案内容及び比較検討の過程や結果等の成果については、報告書中に「コスト縮減対策」の章を別途設定し、取りまとめるものとする。なお、コスト縮減に関する新技術や新工法等の選定にあたっては、農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）及び新技術情報システム（NETIS）等を積極的に活用しなければならない。
 - ・農業農村整備民間技術情報データベース（NNTD）については、
<https://www.nn-techinfo.jp> を参照。
 - ・新技術情報システム（NETIS）は
<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS> を参照。
- (6) 数量計算に当たっては、「工事工種の体系化」に基づき作成するものとする。
なお、「工事工種の体系化」に該当しない工種や用語については、監督職員と協議するものと

する。

- ・「工事工種の体系化」は

https://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/kouzi_kousyu/を参照。

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3-3条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

1 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信性憑確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

2 機器等の導入

(1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

(2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

3 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

(1) 受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

(2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案）6写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

(3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

4 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL(https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html)のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

5 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには、管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（基本条件の設定時）

- 第3回 中間打合せ（細部条件の決定時）
- 第4回 中間打合せ（成果品のとりまとめ時）
- 最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式から Web 方式に変更する場合がある。

第5章 成果物

（成果物）

第5－1条

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体（CD-R 等）正副 2部
- 2 成果物の出力 1 部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

（成果物の提出先）

第5－2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

大分県宇佐市大字石田 43-1

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 駅館川支所

第6章 契約変更

（契約変更）

第6－1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- （1）第2-2条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
- （2）第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- （3）第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- （4）第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- （5）履行期間の変更が生じた場合。
- （6）関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- （7）その他

第7章 定めなき事項

（定めなき事項）

第7－1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙 1】水路別諸元表

路線名	受益面積 (ha)	日最大 通水量 (m ³ /s)	管種・管径	延長 (m)	備考
桂掛幹線用水路	562	1.069	DCIP φ 900	1,005	
広瀬幹線用水路-1	740	1.489	DCIP φ 1100	158	県営南宇佐分岐まで
広瀬幹線用水路-2	665	1.338	DCIP φ 1000	401	国営広瀬③分水まで
広瀬幹線用水路-3	580	1.167	DCIP φ 900	1,133	
平田幹線用水路-1	1,147	2.273	DCIP φ 1500	830	辛江幹線分岐まで
平田幹線用水路-2	589	1.094	DCIP φ 1350	4,910	
辛江幹線用水路	558	1.179	DCIP φ 1350	455	

【別紙２】設計作業項目内訳表

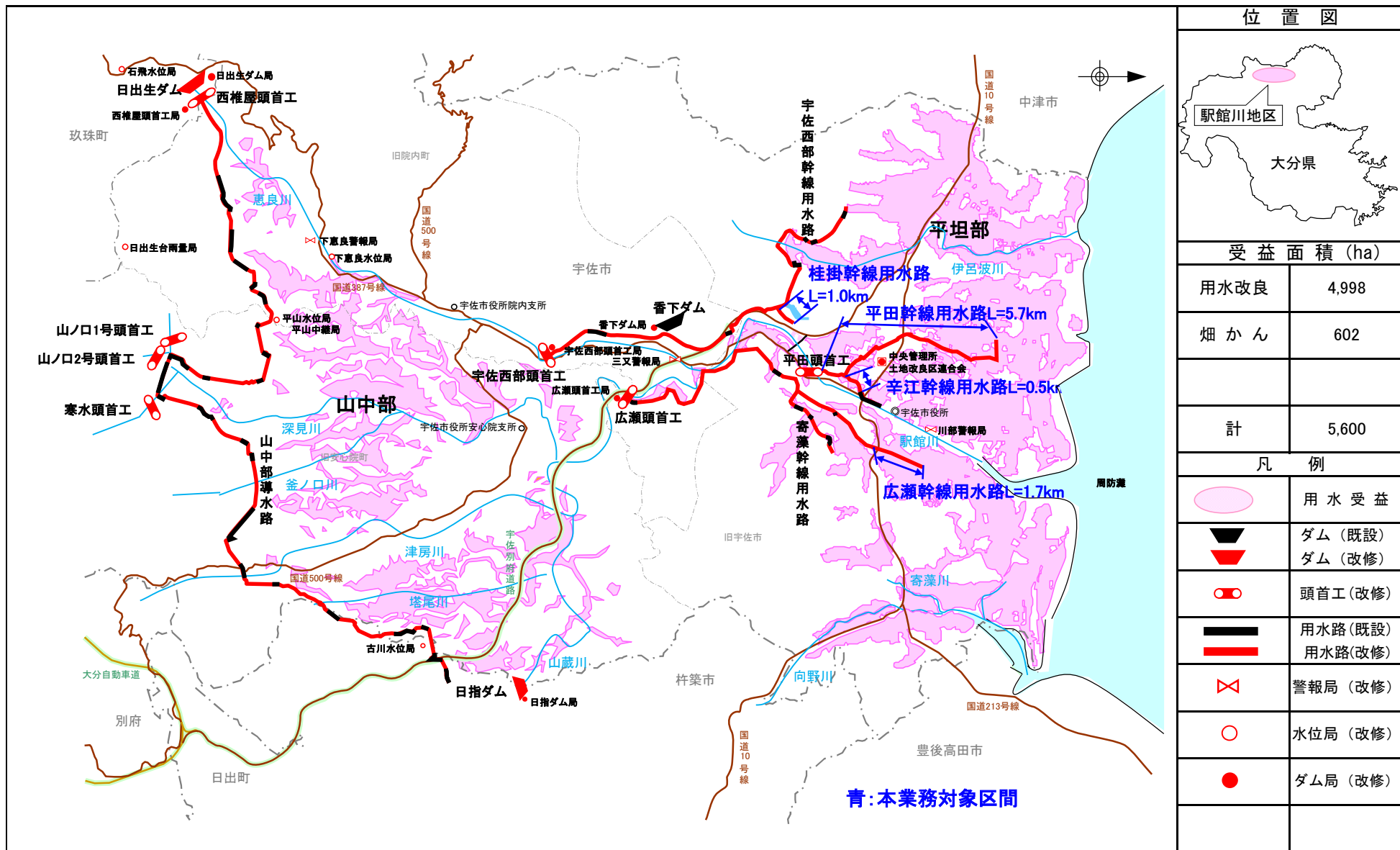
作 業 項 目	作 業 内 容	備 考
1 現地調査	基本設計に必要な調査を行う。	
2 資料の検討	基本設計のための資料収集及び貸与資料の内容を把握する。	
3 設計計画		
3-1 基本条件の検討	過年度業務成果に基づく水理構造条件を決定する。	
3-2 管種、管径の検討	管種、管径について概略の比較をする。	
4 水理検討		
4-1 定常水理解析	概略水理計算を行う。	
4-2 非定常水理解析	概略水理計算を行う。	
5 構造計算	標準断面について概略構造計算を行う。	
6 構造図作成	標準断面図を作成する。	
7 附帯構造物の検討	概略の規模、構造配置を決定する。	
8 附帯施設構造図作成	構造一般図を作成する。	
9 平面縦断図作成	平面縦断図に管径、管種区分、附帯工等を記入する。	
10 数量計算	土工、コンクリート、鉄筋、型枠、管、その他主要附帯工材料等の概略数量計算をする。	
11 施工計画	現場条件を考慮した仮設を含めた概略施工計画を検討する。	
12 概算工事費	主要単価を作成し、概算工事費を算定する。	
13 総合検討	上記までの作業について総合的な検討を行う。	
14 業務照査	照査計画に基づき、業務の節目毎（３回）に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。	
15 点検取りまとめ	水理構造計算、図面の点検、数量計算の点検取りまとめ及び報告書作成を行う。	

令和6年度 全体実施設計
駅館川地区幹線用水路基本設計業務

図 面 目 録

番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	幹線用水路標準断面図	1	
計		2	

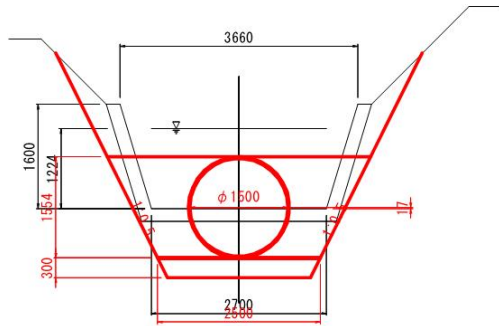
令和 6 年度全体実施設計 駅館川地区幹線用水路基本設計業務 位置図



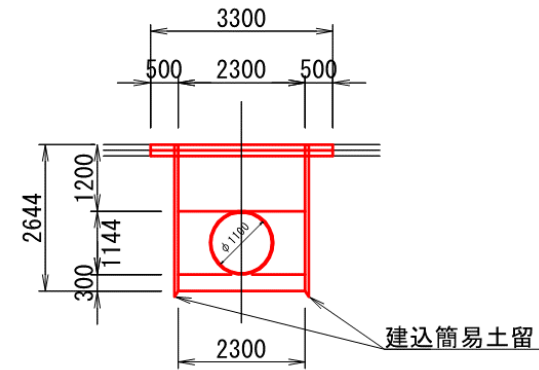
図面名称	図面番号
位置図	1

令和6年度全体実施設計 駅館川地区幹線用水路基本設計業務

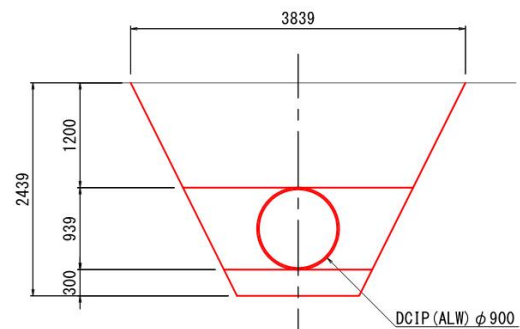
平田幹線用水路



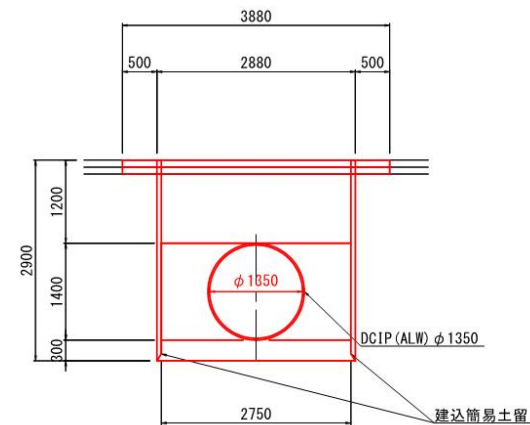
広瀬幹線用水路



桂掛幹線用水路



辛江幹線用水路



図面名称	図面番号
幹線用水路標準断面図	2